

(1) 調査目的

試験運行を行っている**コミュニティバスの利用状況を把握**し、本格運行に向けた問題点や課題を整理し、改善策を検討する際の**基礎資料を得ることを目的**に調査を実施。

(2) 調査対象

幕別地区および札幌地区を運行する**コミュニティバスの全利用者を対象に調査を実施**。

(3) 試験運行実施期間

平成24年11月1日（木）～平成24年11月30日（金） 7：40（始発）～15：50（終発） 計300便

(4) 調査実施方法

調査員がバスに乗車し、利用者数をカウントするとともに、**ヒアリング及び目視**により調査を実施。

(5) 調査内容

調査方法	調査項目	備考
ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ◆乗車・降車バス停 ◆利用目的（通勤・通学・買物など） ◆利用頻度 ◆往復利用について ◆乗り継ぎ前後の移動手段 ◆乗車時間 ◆7月のコミュニティバスの利用有無 ◆コミュニティバスの利用料金 ◆今後の利用意向 	<p>目視と併用で把握</p> <p>徒歩・自転車、車、JR等</p>
目視	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用者数 ◆性別（男・女） ◆年代（子供、学生、一般、高齢者） ◆子供等の同乗者の有無 	バス停別、利用区間別（OD）に把握

11月のコミュニティバス試験運行の結果について

(6) 調査結果

【平成14年度、及び平成24年度(7月・11月)の試験運行における利用者数の比較】

項 目		平成14年度	7月(31日間)	11月(30日間)	増 減
		(10月～1月)	(A)	(B)	(B) - (A)
幕別線	乗車人数(人)		543 (305)	461 (239)	△82 (△66)
	1日平均(人/日)		17.5 (9.8)	15.4 (8.0)	△2.1 (△1.8)
	1便平均(人/便)		3.5 (2.0)	3.1 (1.6)	△0.4 (△0.4)
札内線	乗車人数(人)		758 (758)	900 (417)	142 (△341)
	1日平均(人/日)		24.5 (24.5)	30.0 (13.9)	5.5 (△10.6)
	1便平均(人/便)		4.9 (4.9)	6.0 (2.8)	1.1 (2.1)
合 計	乗車人数(人)	2,493 (623/月)	1,301 (1,063)	1,361 (656)	60 (△407)
	1日平均(人/日)	24.7	42.0 (34.3)	45.4 (21.9)	3.4 (△12.4)
	1便平均(人/便)	4.1	4.2 (3.4)	4.5 (2.2)	0.3 (△1.2)

※7月の()内は、通学に利用した幕別高校生を除いた人数

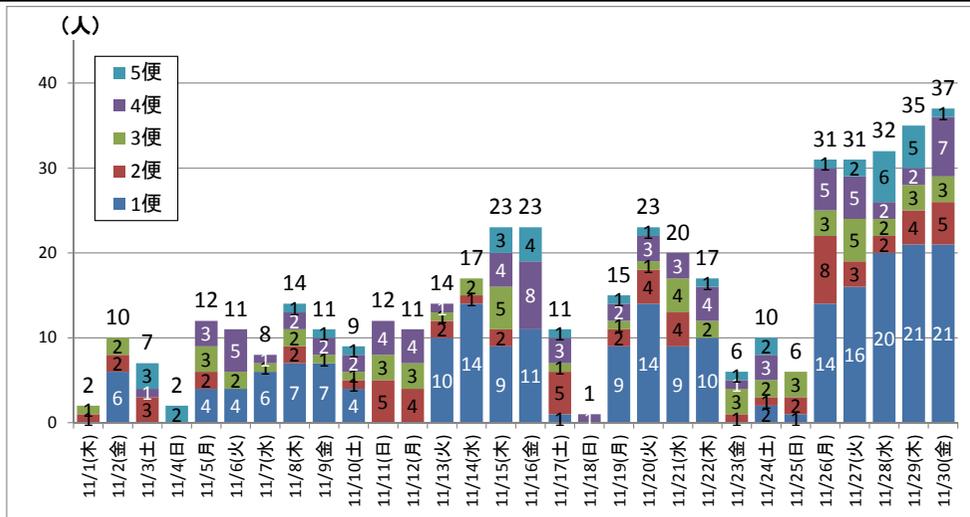
※11月の()内は、通学に利用した小中学生を除いた人数

※11月の運賃収入は、63,200円

11月のコミュニティバス試験運行の結果について

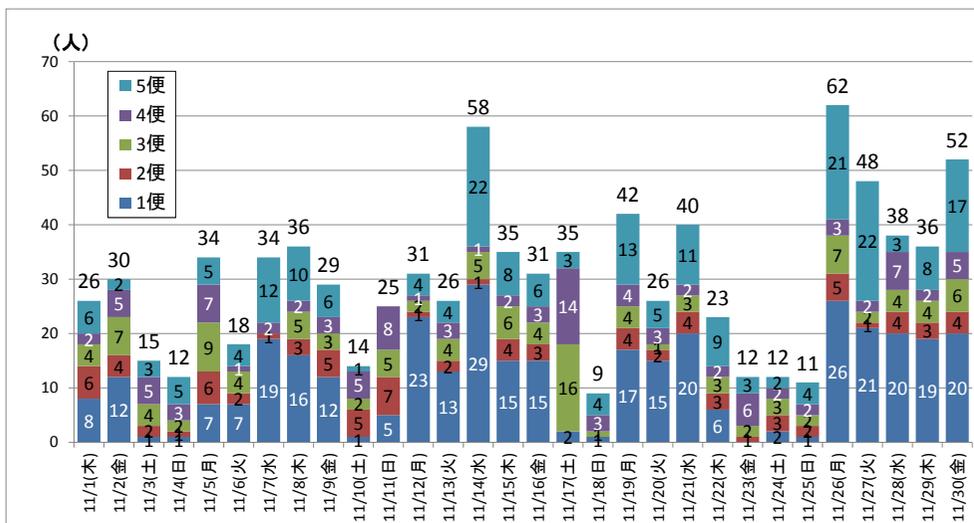
▼試験運行期間中（11/1～11/30）の利用者数については、**幕別線で461人（1日平均15.4人、1便平均3.1人）、札内線で900人（1日平均30.0人、1便平均6.0人）**。

【幕別線】



▼461名が乗車
 ▼1日平均: 15.4人
 平日1日平均: 18.9人
 休日1日平均: 7.1人
 ▼1便平均: 3.1人
 平日1便平均: 3.8人
 休日1便平均: 1.4人

【札内線】

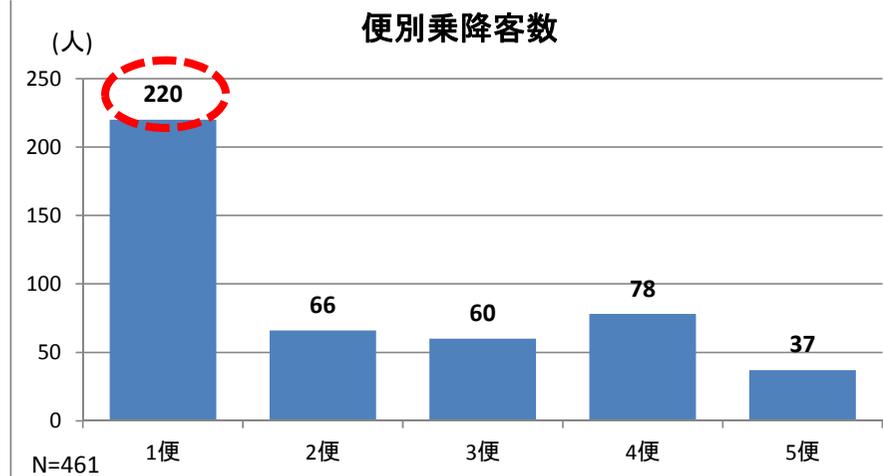


▼900名が乗車
 ▼1日平均: 30.0人
 平日1日平均: 36.0人
 休日1日平均: 16.1人
 ▼1便平均: 6.0人
 平日1便平均: 7.2人
 休日1便平均: 3.2人

11月のコミュニティバス試験運行の結果について

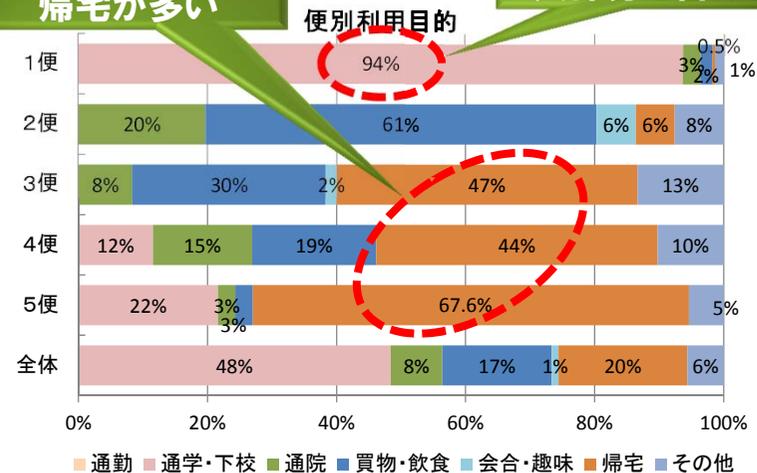
- ▼便別乗降客数は、幕別線、札内線ともに**1便が最も多い**。
- ▼各便の利用目的をみると、幕別線においては**1便の通学**、**3便～5便での帰宅**が多い。札内線では、**1便の通学**が多く、**2便～4便では帰宅やその他（老人福祉センター、十勝の杜病院（見舞い））、5便において下校**の割合が高い。

【幕別線】

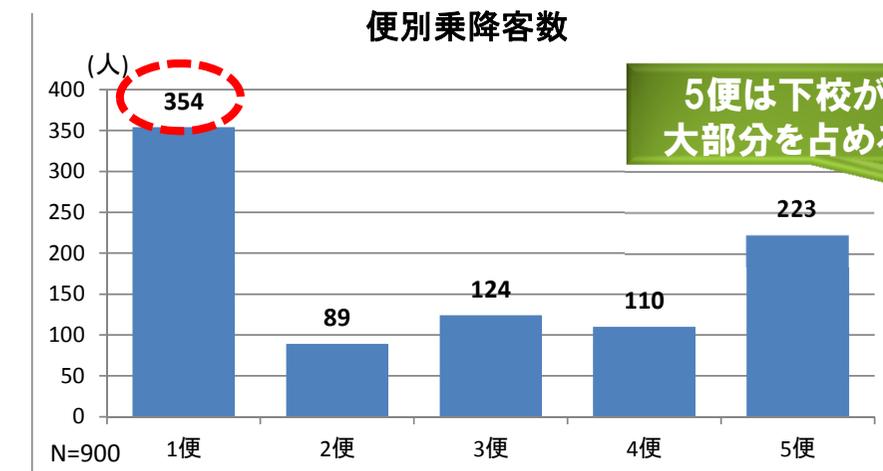


3便～5便での
帰宅が多い

1便は通学が
大部分を占める

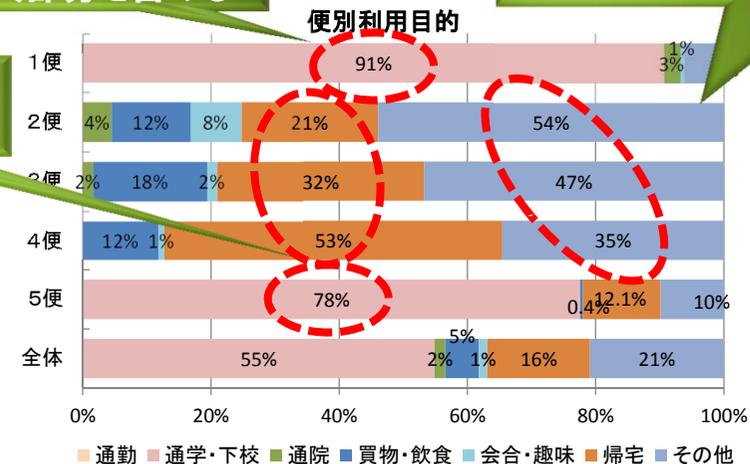


【札内線】



1便は通学が
大部分を占める

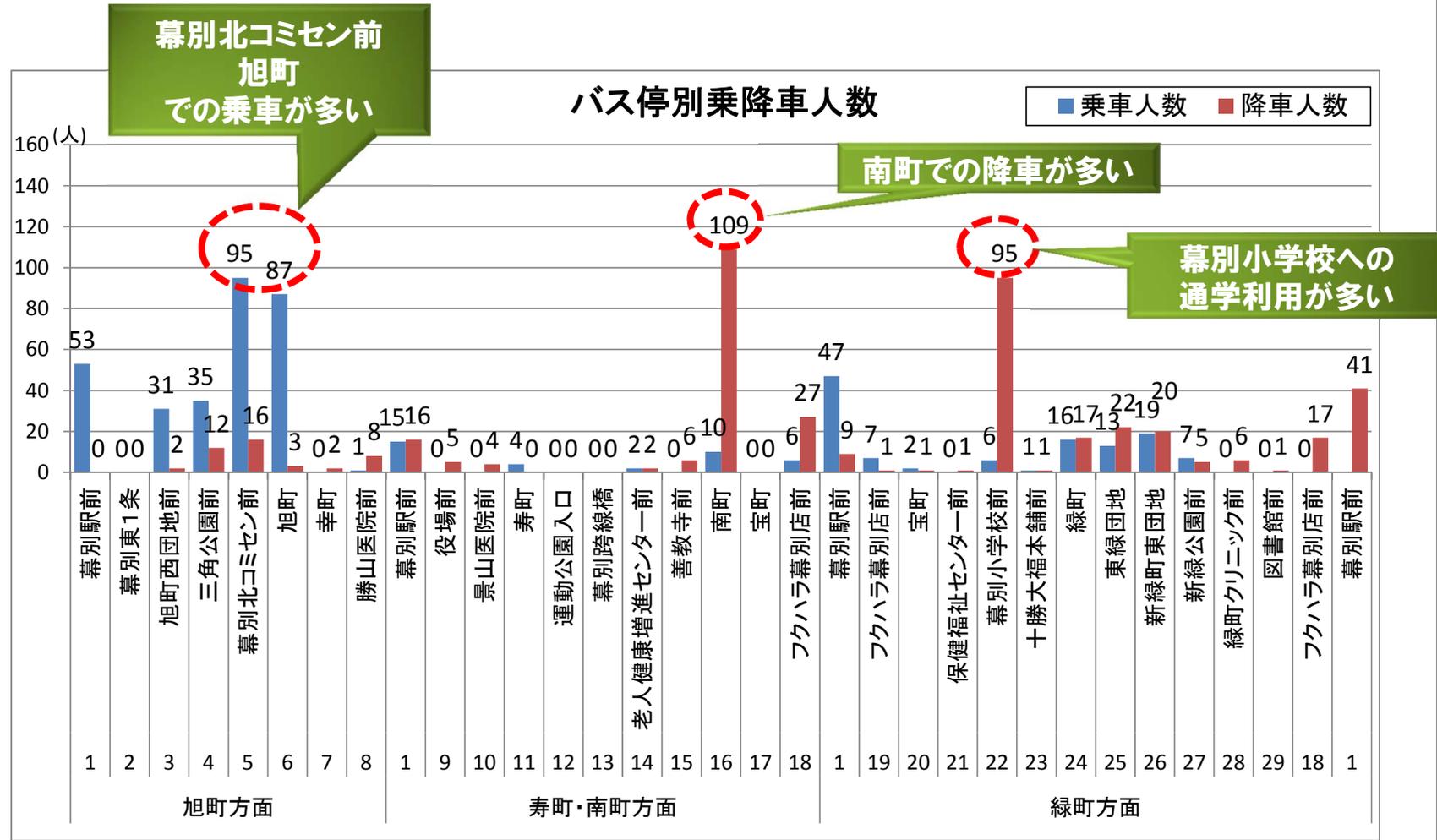
その他目的の
割合が2～4便で高い



11月のコミュニティバス試験運行の結果について

▼路線別バス停別の乗降者数をみると、**幕別線は旭町方面での乗車が多く、“南町”、“幕別小学校前”**での降車が多い。

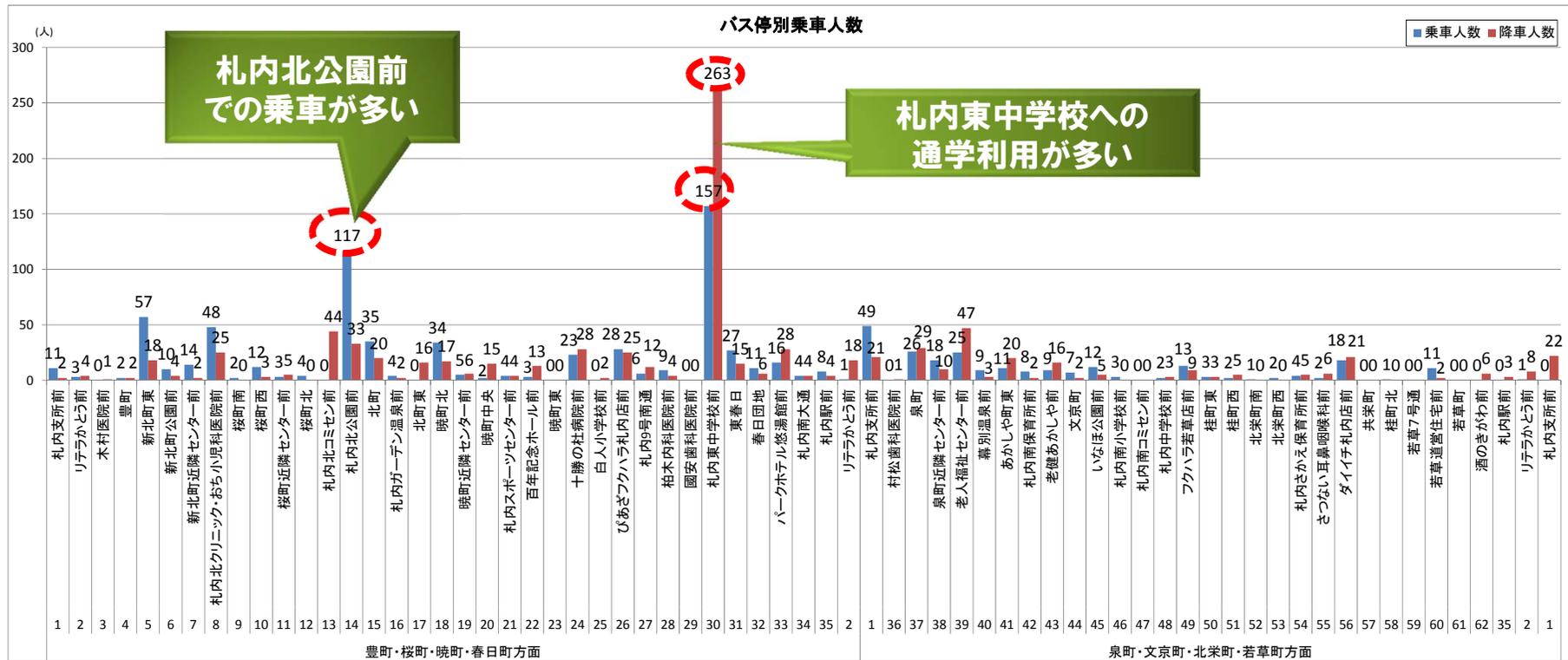
【幕別線】



11月のコミュニティバス試験運行の結果について

▼路線別バス停別の乗降者数をみると、**札内線は“札内東中学校前”**での乗降が多く、その他、“**札内北公園前**”での乗車が多い。

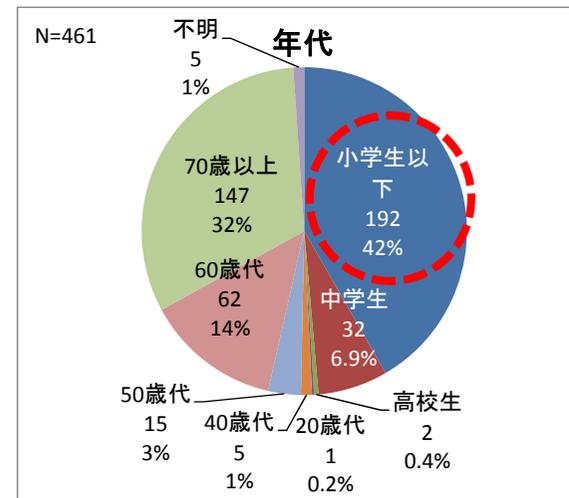
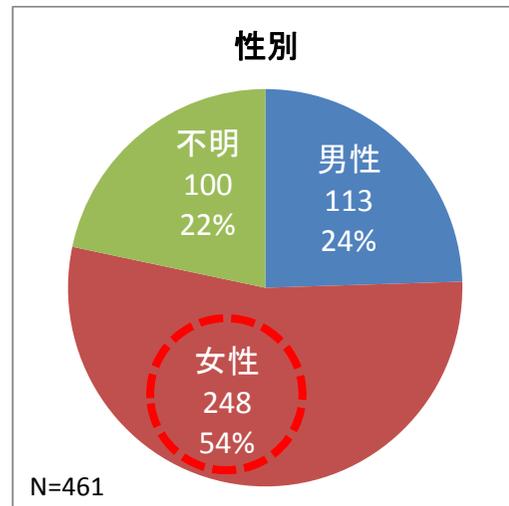
【札内線】



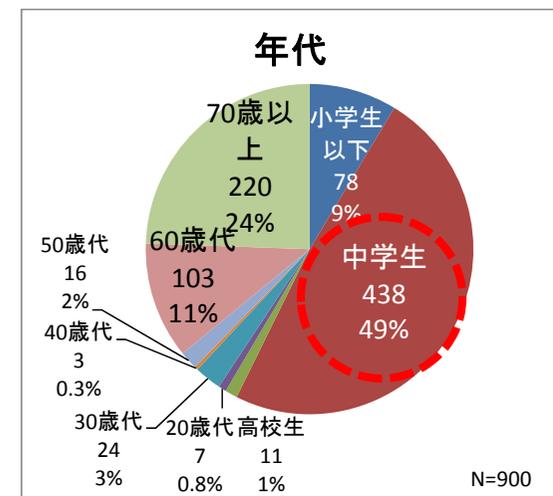
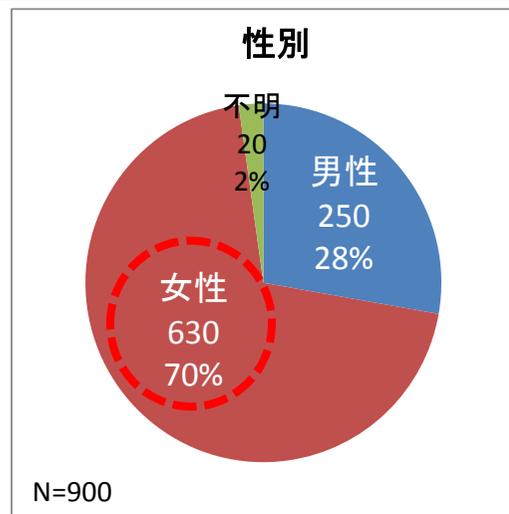
11月のコミュニティバス試験運行の結果について

▼利用者の属性について、性別は幕別線、札内線ともに**女性の割合が高くなっており**、年代は**幕別線は小学生以下**が最も多く、**札内線は中学生**が最も多い。

【幕別線】



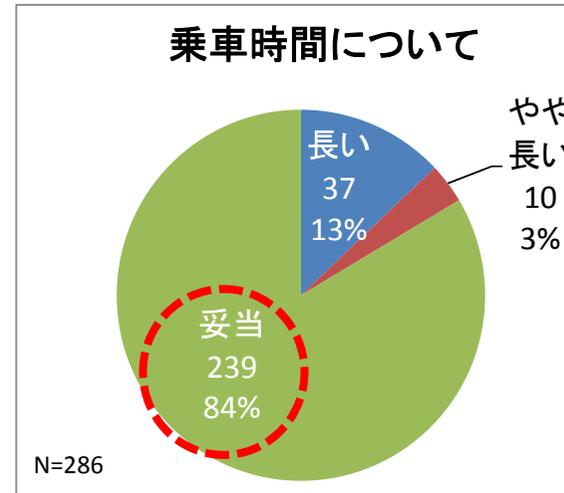
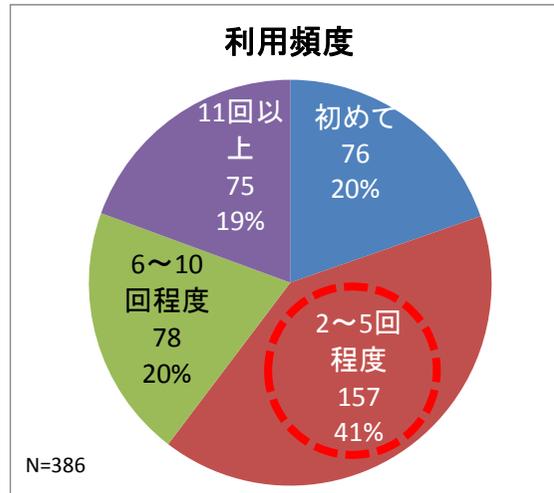
【札内線】



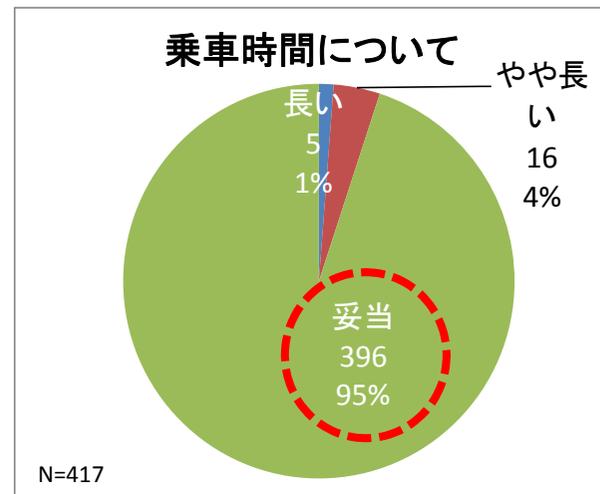
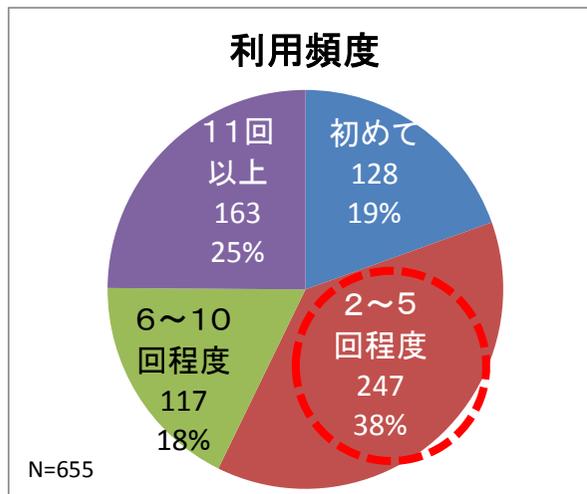
11月のコミュニティバス試験運行の結果について

- ▼利用頻度は、幕別線、札内線ともに「**2～5回程度**」が約4割を占め、最も多い。
- ▼乗車時間は、幕別線、札内線ともに**妥当**が大半を占める。

【幕別線】



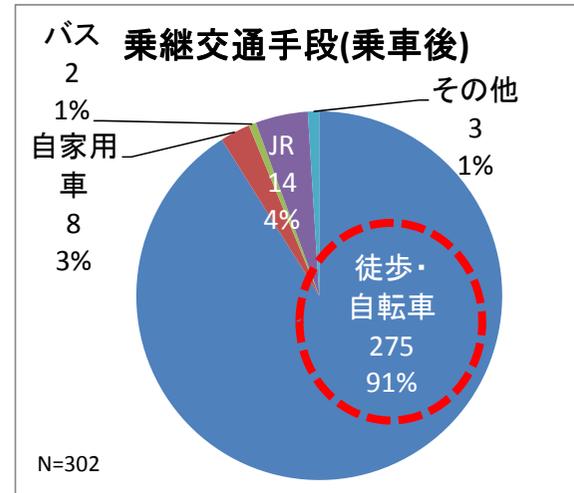
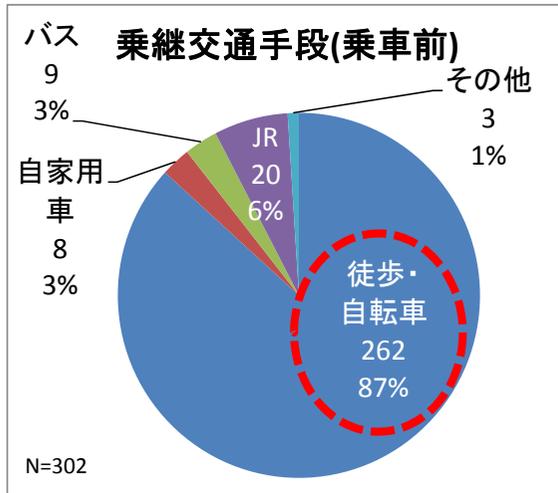
【札内線】



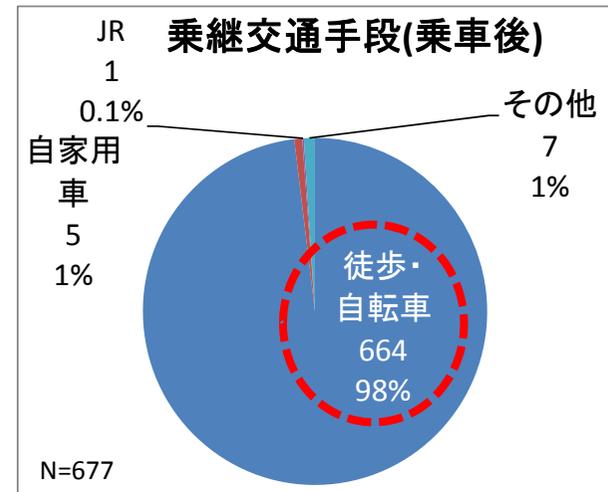
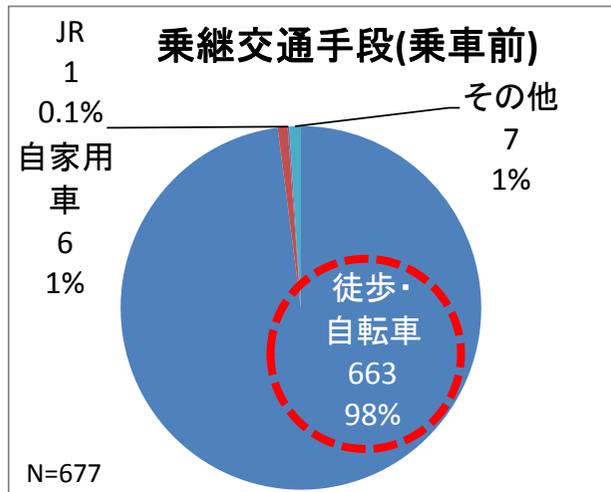
11月のコミュニティバス試験運行の結果について

▼バス乗車前後の交通手段は幕別線、札内線ともに「徒歩・自転車」が約9割を占める。

【幕別線】



【札内線】



11月のコミュニティバス試験運行の結果について

▼路線別のコミュニティバスの今後の利用意向を見てみると、幕別線、札内線ともに**ほぼ全利用者が利用する意向**を示している。また、コミュニティバスに対する自由意見としては、**幕別線では「ルート変更」「逆回りの要望」「便利」「冬期運行要望」**が多く、**札内線では「便利」「バス停位置の変更」「今後も運行してほしい」**が多い。

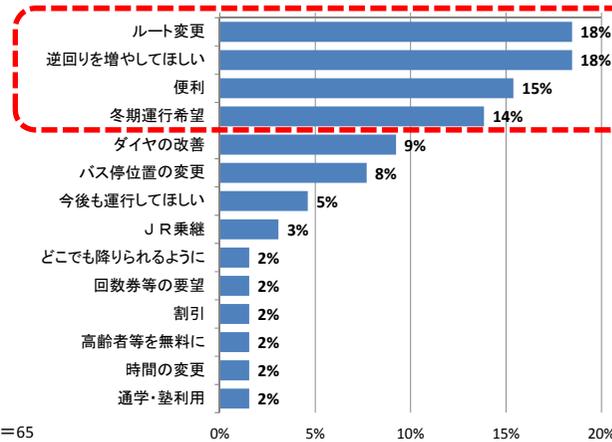
【幕別線】

コミュニティバス利用意向



N=298

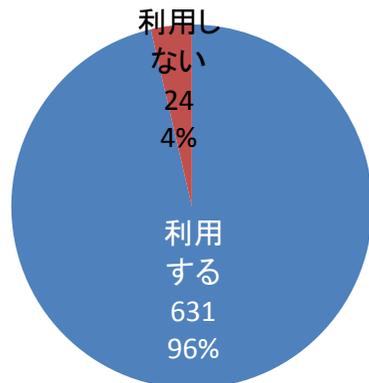
【主な自由意見(幕別線)】



N=65

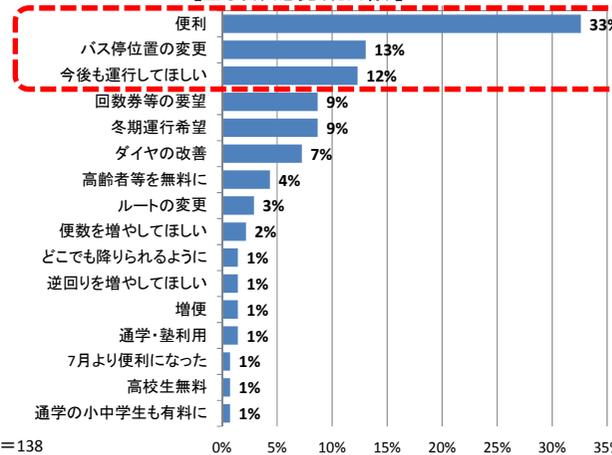
【札内線】

コミュニティバス利用意向



N=655

【主な自由意見(札内線)】

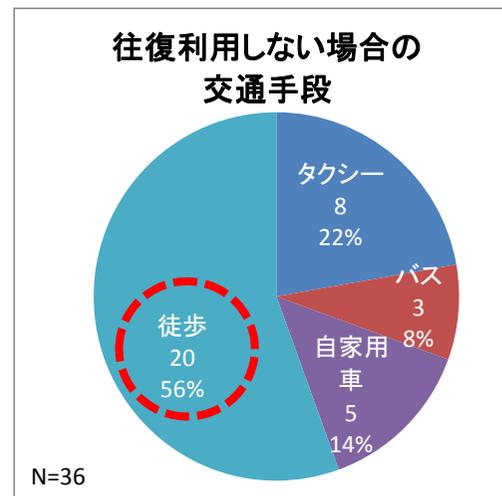
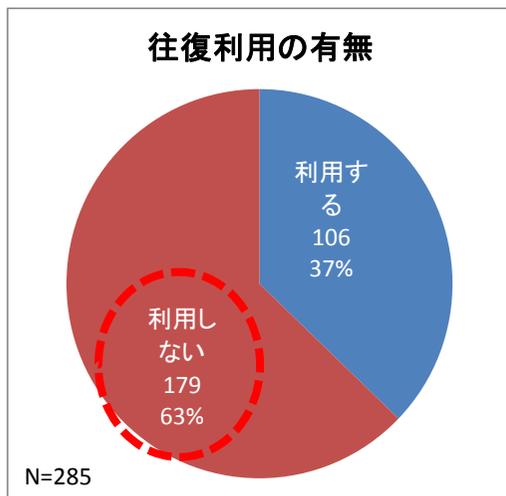


N=138

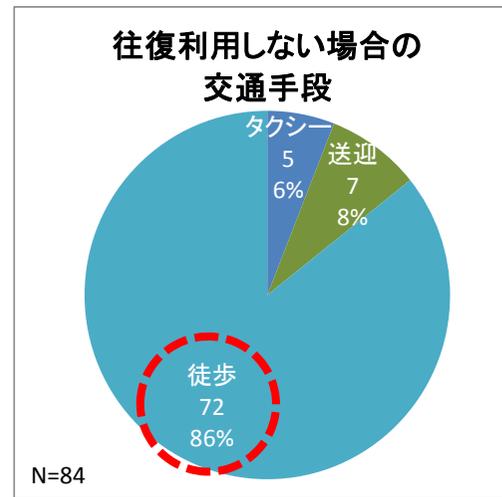
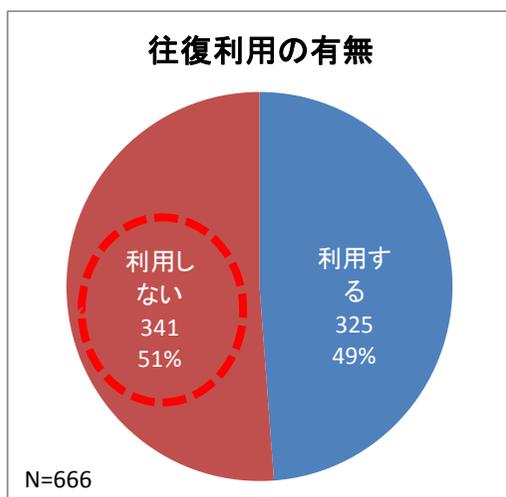
11月のコミュニティバス試験運行の結果について

▼往復利用の有無は、**幕別線では約6割**、**札内線では約5割**が「**往復利用しない**」と回答。往復利用しない場合の交通手段は、幕別線、札内線ともに**徒歩が半数以上**を占めている。

【幕別線】



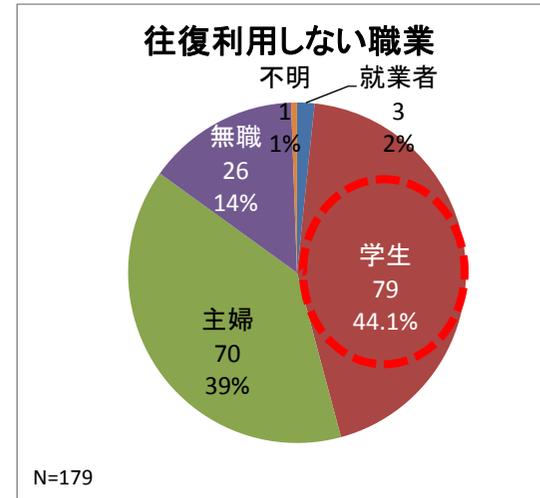
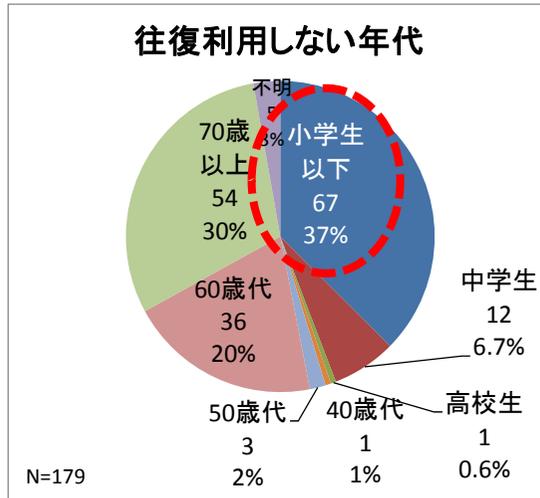
【札内線】



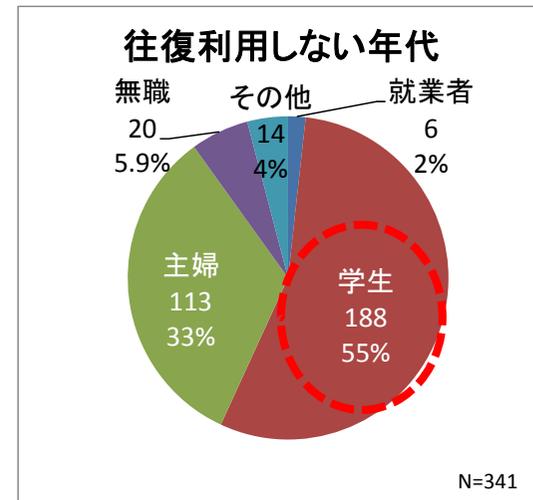
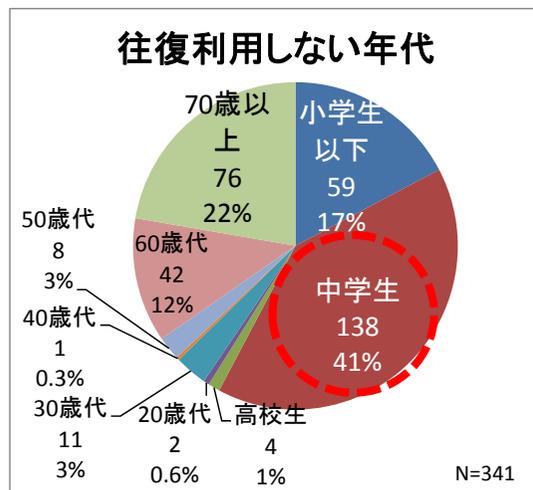
11月のコミュニティバス試験運行の結果について

▼往復利用しない年代は、**幕別線は小学生**、**札内線は中学生**が最も多く、往復利用しない職業は幕別線、札内線ともに**学生が最も多い**。

【幕別線】



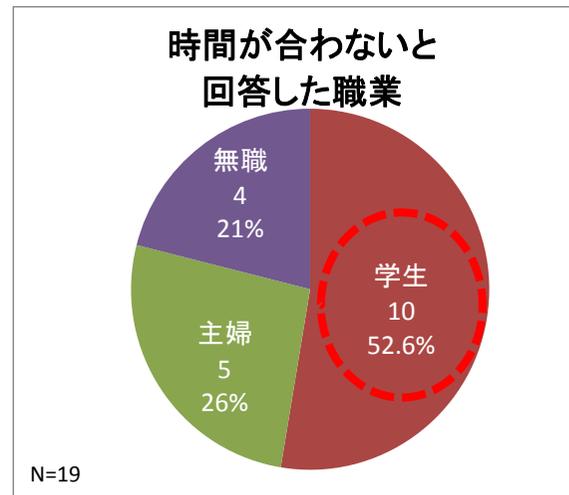
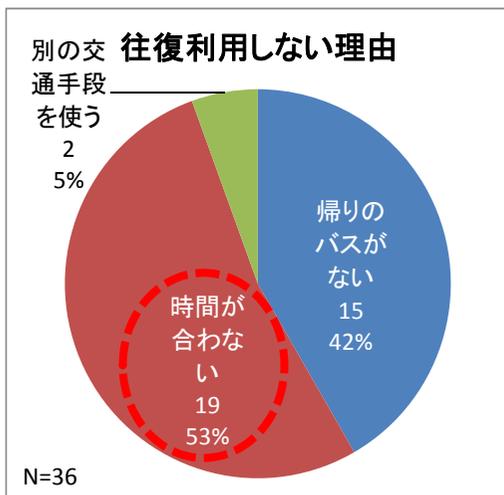
【札内線】



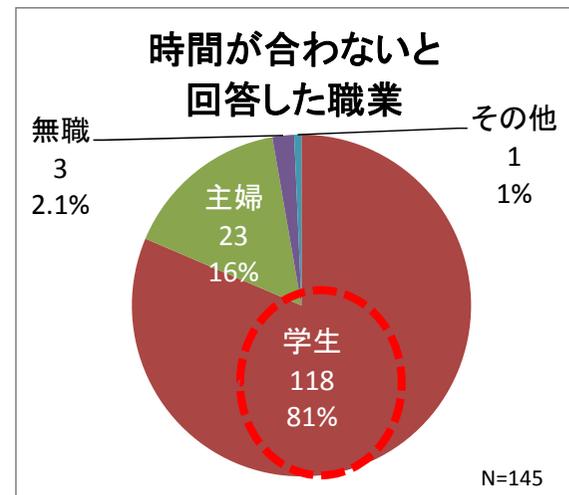
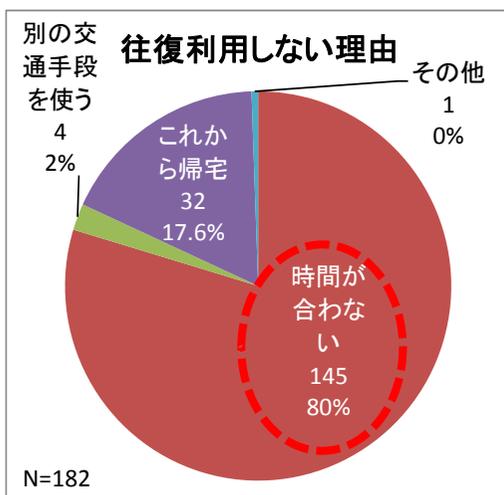
11月のコミュニティバス試験運行の結果について

▼往復利用しない理由は、幕別線、札内線ともに「**時間が合わない**」が最も多くなっている。往復利用しない理由として「時間が合わない」と回答した人の職業は、幕別線、札内線ともに、**学生が多く**なっている。

【幕別線】



【札内線】

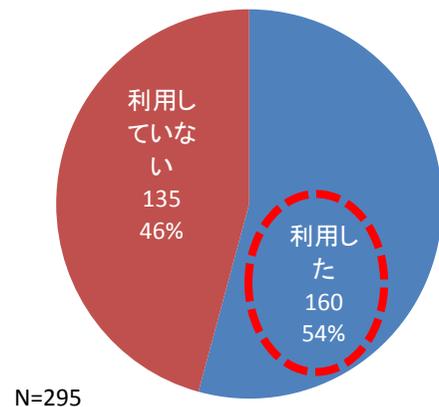


11月のコミュニティバス試験運行の結果について

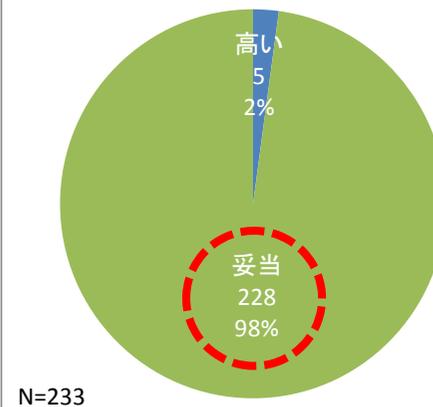
▼7月にコミュニティバスを利用していた利用者は、**幕別線では半数を超えているが、札内線では約4割**である。コミュニティバスの利用料金は、幕別線、札内線ともに**妥当**という利用者が大半を占めている。料金が妥当と回答した人のコミュニティバス利用意向は、幕別線、札内線ともに**9割以上が利用する意向**が見られる。

【幕別線】

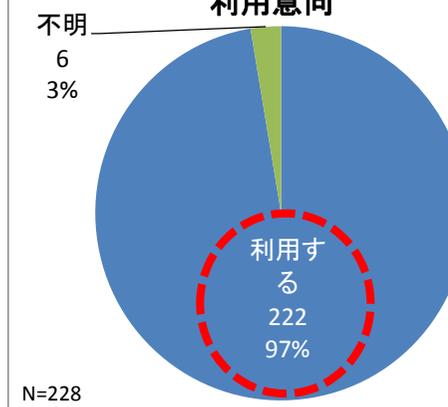
7月コミュニティバスの利用



コミュニティバス利用料金

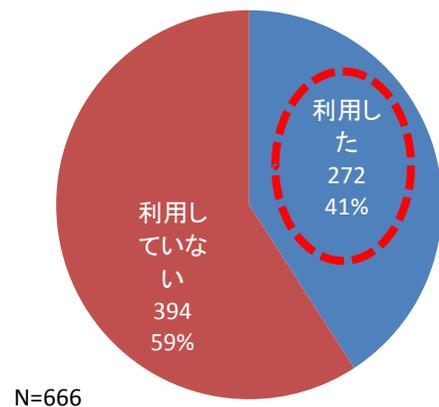


料金が妥当と回答した人の利用意向

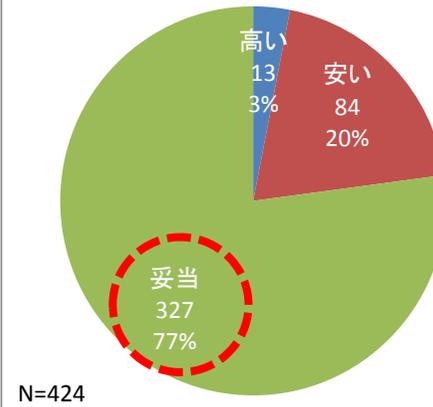


【札内線】

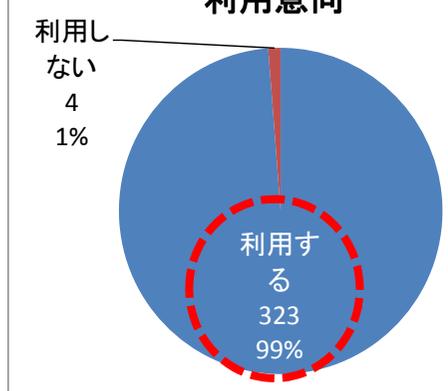
7月コミュニティバスの利用



コミュニティバス利用料金



料金が妥当と回答した人の利用意向



11月のコミュニティバス試験運行の結果について

(7) 調査まとめ

【利用状況について】

- ①平日の利用者と比較し、休日の利用者は少ない
幕別線の利用者は平日18.9人/日、休日7.1人/日で、札内線は平日36.0人/日、休日7.2人/日で、幕別線、札内線ともに、休日は平日の4割以下の利用しかない。
- ②利用者は小中学生と高齢者が大部分を占める
利用者の年代を見ると、小中学生と60歳以上で大部分を占める。
- ③利用目的は通学・下校で半数を占める
利用目的は、幕別線、札内線ともに通学・下校で半数を占める。
- ④JRやバスへの乗り継ぎはほとんど無い
乗車前後の交通手段は幕別線、札内線ともに徒歩・自転車が9割を占め、JRやバスへの乗り継ぎはほとんど見られない。

【運行について】

- ①乗車時間については概ね妥当
乗車時間は、幕別線、札内線ともに8割以上が妥当と回答。
- ②半数以上が往復利用をしないと回答
幕別線、札内線ともに約半数が「往復利用しない」と回答しており、往復利用しない理由は、「時間が合わない」が最も多い。

【今後のコミュニティバスの利用について】

- ①今後のコミバスの利用については大部分の方が利用する意向
今後のコミバスの利用意向は、幕別線、札内線ともに大部分の利用者が利用意向を示している。

11月のコミュニティバス試験運行の結果について

(8) コミバス運行見直しに向けた課題の整理

①平日・休日の利用状況を考慮した運行便数等の見直し

- 平日と比較し、**休日の利用者は少ない**ことから、**利用状況に合わせた運行便数や運行時間帯の設定**を検討することが重要である。

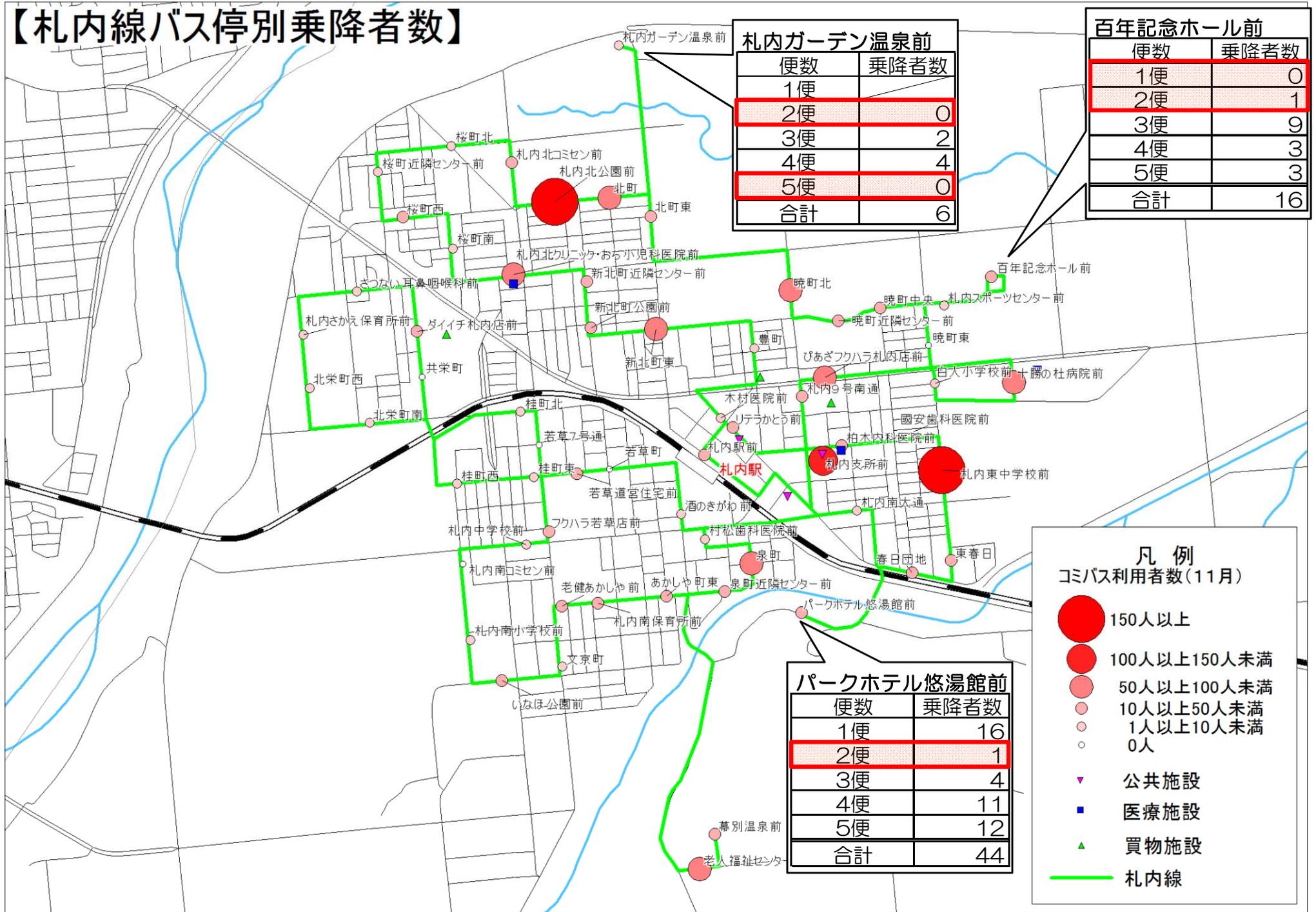
②小中学生の利用に配慮した運行計画の見直し

- 幕別線では幕別小学校、札内線では札内東中学校の児童・生徒がコミュニティバスを利用しているが、**下校時間に合った運行便が無い**ことや、**幕別線においては逆回りが無い**ため帰ることができないなどの問題があるため、これらの改善を図る必要がある。

③利用実態を踏まえた運行ルート等の見直し

- 利用者が少ないバス停については見直し検討を行うとともに、施設の営業時間等を踏まえ、百年記念ホール前やパークホテル悠湯館前など、**朝1便目から運行する必要がない場所**については、**運行便ごとにルートを変更（当該バス停には停車しない）**するなどし、総運行距離の短縮による運行の効率化を図ることが重要である。

【札内線バス停別乗降者数】



札内ガーデン温泉前

便数	乗降者数
1便	0
2便	0
3便	2
4便	4
5便	0
合計	6

百年記念ホール前

便数	乗降者数
1便	0
2便	1
3便	9
4便	3
5便	3
合計	16

パークホテル悠湯館前

便数	乗降者数
1便	16
2便	1
3便	4
4便	11
5便	12
合計	44

凡例
 コミバス利用者数(11月)

- 150人以上
- 100人以上150人未満
- 50人以上100人未満
- 10人以上50人未満
- 1人以上10人未満
- 0人
- ▼ 公共施設
- 医療施設
- ▲ 買物施設
- 札内線

【幕別線バス停別乗降者数】

